

オーガニック給食の会 NO.4

ゆうき生協組合員の皆さま、こんにちは😊

今治市組合員の中野愛子と申します。

私は「今治市のゆうき給食をすすめる会」に携わることになったことを機に、会のメンバーからゆうき生協をご紹介いただき組合員になりました。今回は、先月12月に今治地区会で開催した「希望の給食」の鑑賞&お話会がご縁で、松山の中田美智子さんからお声かけをいただき、僣越ながら寄稿させていただくことになりました。どうぞよろしく申し上げます。

40年の時を経て…

今治市のゆうき給食をすすめる会は、2020年2月に西条市で開催された食に関するイベントで、ゆうき生協の立役者でもあり今治地区会委員長でもある阿部悦子さんと、食の安全安心について興味をもっていた子育て中のママさん達が出会ったことをきっかけに結成されました。

知る人ぞ知る。

今治市の学校給食は全国から視察に来るほど先進的なことで有名です。

1981年の当時、学校給食センターの老朽化にともない新しい共同調理場の整備案が出された時、「子どもたちに手作りのおいしい給食を！」と、当時のゆうき生協の生産者でもある農家さん、消費者である子どもの母親達を中心となり、後の市長選までも影響を及ぼすほどの大きな市民運動が展開されました。そして遂には、自校式給食に賛同する新人候補者が当選した事で、学校給食の改善が大きく進みました。ゆうき生協が今治市の先進的学校給食への一翼を担っていたということにも感動です🌟

また、1982年生まれの私は、まさにその給食運動の恩恵を受けた世代であり、小学生の頃に校内の給食室見学や額に汗しながら大きなお鍋を扱う調理員さんの姿、給食に携わる人達へ感謝する食育は今でも記憶に残っています。

広げよう、オーガニック給食 🍎

ゆうき給食をすすめる会では、昨年末から「もっと自分たちが勉強しよう！」ということがテーマにあがりました。

というのも、40年前の市民運動により今治市では、地産地消、有機農産物の使用、「食と農のまちづくり条例」の制定など、先進的改革が進むものの、時の市長が交代することで、有機農産物使用の拡大が停滞し、現状では全体量の5%未満にとどまっています。

千葉県いすみ市ではお米はすべてじ地元有機米で提供されるようになったことは有名です。他地域で進むオーガニック給食の事例を知れば知るほど、“給食先進地”が過去の栄光になりつつあることを会のメンバーとも情報共有し、今治でゆうき給食がすすまない原因と問題点は何なのか？どうすれば広げられるのか？そのようなことを問い直しながら、改めて、ゆうき給食をすすめる活動を活性化しよう！とメンバーそれぞれにアイデアを出し合って切磋琢磨しています。

オーガニック給食をすすめるために…

去る1月9日、ゆうき給食をすすめる会主催で、香川県丸亀市で活動している佐久間雅子さんのお話交流会を開催しました。

佐久間さんがたった一人から歩みはじめた丸亀市オーガニック給食実現までの情熱的なストーリーに、たくさんの学びを得られたことはさることながら、参加された皆さんがお互いの活動へのアドバイスやアイデアを出し合ったりした意見交換がとても貴重で豊かな時間となりました。

その時、【ゆうき給食は一人ですすすめることはできない】ということ強く思いました。なぜ「ゆうき給食」なのか？その根本を問い、お互いの考えや意見を共有しながら仲間の輪を広げる必要性。そして、トップ(市長)が変わっても揺るがない、一人一人の意思決定…この国・自治体の主権者として「オーガニック給食給食」の選択を確固たるものにすることが大事なのではないかと思いました。そのためには、まだまだ課題は山積みで前途多難です。

でも、【始まりはたった一人から】ということも思います。オーガニック給食に限らず、すべての物事はたった一人の情熱から始まるのではないのでしょうか？今回、このオーガニック給食の会のニュースを依頼してくださった中田さんは、愛媛のオーガニック給食の活動を繋げたい！との熱く壮大な想いから各地に出向いて交流をされています。私も、NO.1 から楽しく拝読させていただき、学びと元気をいただいてきた一人です。そんな中で、NO.4 となるニュースを書かせていただく機会をくださったことを嬉しく思い感謝しております。

このニュースも組合員の皆さまに楽しんでいただけましたら幸いです😊

来る、2/17の日有研全国大会、第4分科会も有機給食について話し合われます。繋がりを広げてゆきたいですね🌈🌟

「今治市のゆうき給食をすすめる会」では、一緒に活動できる仲間を大
大大！募集しています😊 お気軽にお問い合わせください🍀